

モンゴル医療診断技術向上に貢献し事業完了

遠隔診断システム技術活かし、コロナ禍でも成果確認

特定非営利活動法人総合遠隔医療支援機構（以下、「実施団体」という。）は、2022年2月に、JICA 草の根技術協力事業を通じて、モンゴル国の国立病院や国立病理センターと約3年6か月間に渡り協働で実施してきた「塵肺症および石綿（アスベスト）曝露による呼吸器疾患の早期診断能力の向上プロジェクト」を終了しました。

2018年6月に開始し順調に進んでいた事業も、開始1年半で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、当初に計画されていた、モンゴルへの日本人医療者などの専門家派遣や、モンゴルの医療者を日本へ迎えての広島県内病院での研修の受入れも残念ながら中止となりました。

そのような中でも、オンラインで遠隔研修を実施し、またモンゴルと日本を繋いだ遠隔診断システムを使用しながら診断に必要な画像データベース作成を継続するなどし、対象疾患の診断技術の向上に貢献されました。事業完了に際しては、遠隔研修の実習内容を冊子やDVDにまとめ医療者に配布も行いました。

本事業は、日本が経済発展の歴史のなかで経験してきた大気汚染や産業衛生の負の側面から発展してきた呼吸器疾患に関する医療技術、そして現在医師不足に苦しむ地方の医療過疎地を支援する遠隔医療システム技術を駆使して、国土が広大なモンゴルでその技術を応用しながら貢献するという意義を持ちます。過去から現在において生み出された日本が直面する課題の解決への知見や新しい技術が、途上国の課題解決につながれていることが特徴的です。

本事業終了に際し、ぜひ取材をご検討ください。団体への取材等も調整可能です。

事業については、事業提案自治体となる[広島県ホームページ](#)にも掲載されています。  記事へのリンク

■実施団体： 特定非営利活動法人総合遠隔医療支援機構（提案自治体：広島県）

■実施国： モンゴル国

■事業期間： 2018年6月から2022年2月まで

■案件名： 塵肺症および石綿（アスベスト）曝露による呼吸器疾患の早期診断能力の向上 プロジェクト

※JICA 草の根事業については、以下 JICA 担当まで、取材については、直接団体担当者までお問合せください。

特定非営利活動法人総合遠隔医療支援機構(担当：田中)

TEL:082-221-1222



【本件に関する問い合わせ】

JICA 中国 市民参加協力課 担当：齋藤

TEL: 082-421-6305 FAX: 082-420-8082

E-mail: jicacic-coordinator1@jica.go.jp

地域から世界へ、世界から地域へ
 元気をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

